

経営比較分析表（平成29年度決算）

北海道岩見沢市 総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	15	-	ド透未方	救臨感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
82,823	30,927	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

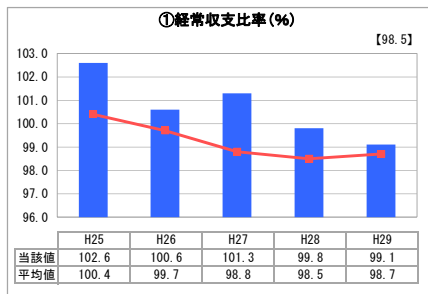
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
365	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
115	4	484
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
365	-	365

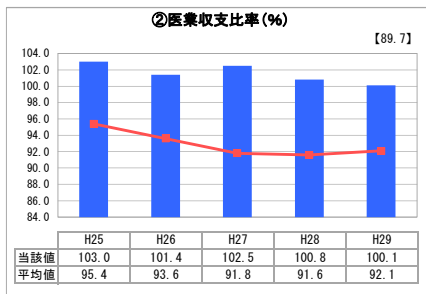
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

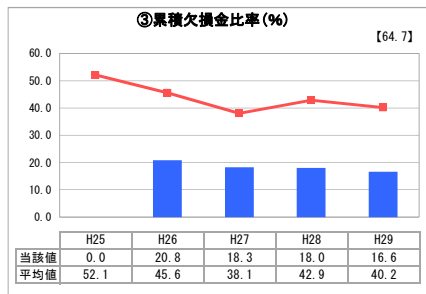
1. 経営の健全性・効率性



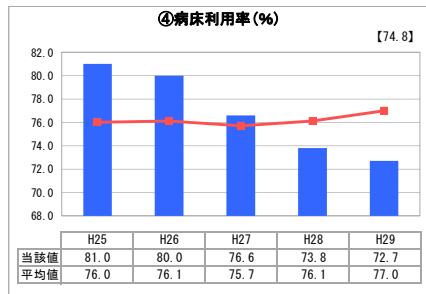
「経常損益」



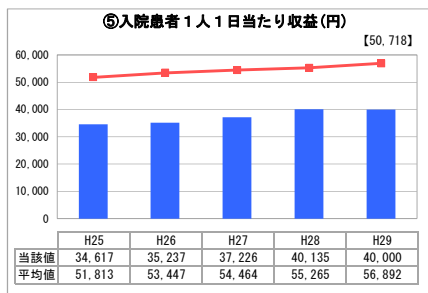
「医療損益」



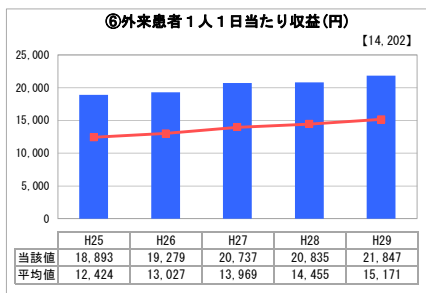
「累積欠損」



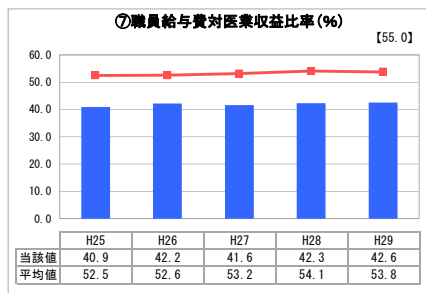
「施設の効率性」



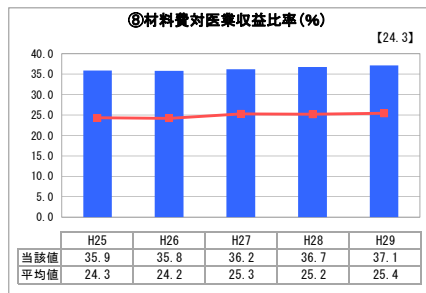
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

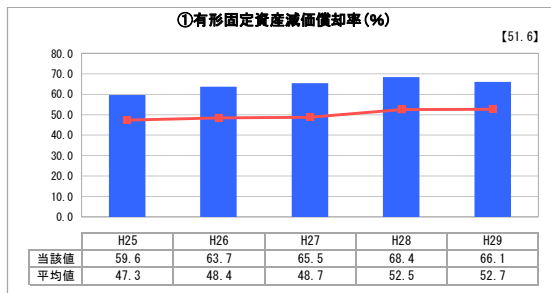


「費用の効率性①」

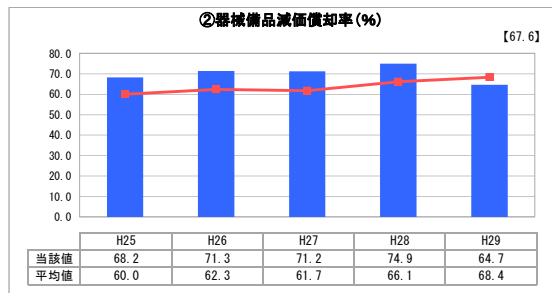


「費用の効率性②」

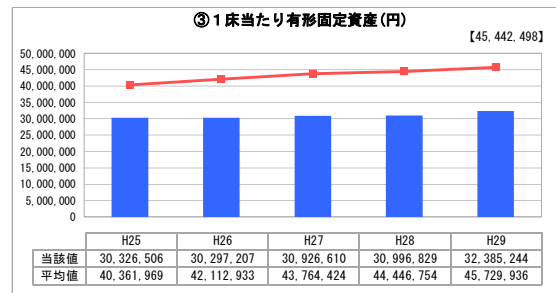
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院は、南空知圏域において救急医療、小児医療及び高度医療などに対応可能な地域センター病院として、圏域内の中核的な役割を担っているほか、災害拠点病院の指定、地域周産期母子医療センターの認定を受けており、当市はもとより、南空知圏域から多くの入院患者や外来患者を受け入れています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び医療収支比率は年度により増減があるものの、類似病院平均値を上回っている状況です。

累積欠損比率については、類似病院平均値を下回っております。

病床利用率は年々減少しており、類似病院平均を下回っております。

入院患者1人1日当たり収益は前年度より減少しており、類似病院平均値を下回っております。外来患者1人1日当たり収益は前年度より増加しており、類似病院平均値を上回っております。

職員給与と費対医療収益比率は類似病院平均を下回り、横ばいで推移しております。

材料費対医療収益比率は類似病院平均を上回り、横ばいで推移しております。

2. 老朽化の状況について

平成29年度において、有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率が前年度と比較して減少しておりますが、これは同年度に総合医療情報システムの更新及び内視鏡手術支援ロボットを導入したことが要因であります。この要因を除けば、依然として各々の減価償却率は上昇傾向にあり、また類似団体の平均よりも高く、老朽化は進んでいる状況です。

全体総括

施設等の老朽化が進んでおり、修繕・保守に係る経費等（減価償却費を含む）が年々増加傾向にあります。

収支に関して、経常収支比率は類似病院平均値を上回ってはいるものの、平成29年度は赤字となっており、今後、施設等の更新を進めていくためにも、入院・外来収益等の増収や経費削減等に努め、健全な病院経営を図っていく必要があります。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。